

各務原病院専門医研修プログラム

1. 基幹施設：各務原病院

週間スケジュール 32時間/週

	月	火	水	木	金
9～12時	外来業務	外来業務		外来業務	外来業務
12～13時					
13～17時	病棟業務	病棟業務		病棟業務	病棟業務
17～18時	新患カンファレンス	ミニレクチャー		抄読会	リエゾンカンファ

年間スケジュール

4 月	オリエンテーション	
5 月		
6 月	日本精神神経学会学術総会	
7 月		
8 月		
9 月	岐阜県精神科医会「秋の研修会」参加	
10 月	日本アルコール・アディクション学会（任意）	
11 月	アルコール啓発週間シンポジウム参加	
12 月	日本認知症学会学術集会（任意）	
1 月		
2 月	日本アルコール関連問題学会東海北陸地方会参加	
3 月	岐阜県精神科医会「春の研修会」参加	

2. 連携施設：岐阜市民病院

就業時間が 40 時間/週を超える場合は、36 協定（労働基準法）を結んだ上で実施される。

週間計画

	月	火	水	木	金	土
午前	外来業務 リエゾン	外来業務 リエゾン	外来業務 リエゾン	外来業務 リエゾン	外来業務 リエゾン	
午後	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務 デイケア検討会	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	
5時以降		医局会 症例検討会			論文輪読会	

年間計画

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	市民公開講座 発表
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」参加
10月	日本児童青年精神医学会総会参加(任意) 日本デイケア学会参加(任意)
11月	日本総合病院精神医学会総会参加(任意)
12月	
1月	
2月	
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」参加 研修プログラム評価報告書の作成

3. 連携施設：岐阜大学附属病院

就業時間が 40 時間/週を超える場合は、36 協定（労働基準法）を結んだ上で実施される。

	月	火	水	木	金
午前	初診予診 外来 病棟診療	外勤	初診予診 外来 病棟診療	初診予診 外来 病棟診療	初診予診 外来 病棟診療
午後	教授回診 病棟診療 医局会	外勤	輪読会 病棟診療	病棟診療 電気けいれ ん療法	病棟診療

＊外来は1年目週1回、2年目以降は週2回あり、主に入院で担当となった患者の再診を行う。外来曜日以外の午前は初診の予診を初期研修医、学生らと行い、指導医による本診の見学をする。

年間スケジュール
岐阜大学病院

4月	関連病院見学 日本統合失調症学会参加（任意）
5月	日本不安症学会参加（任意）
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	
9月	岐阜県精神科医会「秋の研究会」開催
10月	日本児童青年精神医学会総会参加（任意）
11月	日本神経精神薬理学会参加（任意） 日本臨床精神神経薬理学会参加（任意） 日本総合病院精神医学会総会参加（任意） 日本生物学的精神医学会参加（任意）
12月	
1月	
2月	東海精神神経学会
3月	岐阜県精神科医会「春の研究会・総会」開催

4. 連携施設：上林記念病院

就業時間が 40 時間/週を超える場合は、36 協定（労働基準法）を結んだ上で実施される。

以下の業務から選択され、専攻医ごとに異なる。

	月	火	水	木	金
9 時 ～ 12 時	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・外来 精神科予診 陪席（成人） ・デイケア	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・外来 精神科予診 陪席（成人） ・デイケア	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・外来 精神科予診 陪席（児童/成人） ・デイケア	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・外来 精神科予診 陪席（児童/成人） ・デイケア	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・外来 精神科予診 陪席（児童/成人） ・デイケア ・構造化面接
13 時 ～ 17 時	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・行動制限カンファレンス ・心理検査陪席 15:00～ 児童青年期教育	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・行動制限カンファレンス ・心理検査陪席 16:30～ 火曜会	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・行動制限カンファレンス ・心理検査陪席 15:00～ 水曜会	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・行動制限カンファレンス ・心理検査陪席	・病棟業務 精神科救急 精神科急性期 慢性期 ・行動制限カンファレンス ・精神科リエゾン ラウンド

陪席: 精神科外来において精神科医、児童青年精神科外来において子どものこころ専門医または小児科専門医の外来に陪席し、それぞれの年代における精神医療の実務を学ぶ。

構造化面接: Kiddie Schedule for Affective Disorders and Schizophrenia - Present and Lifetime Version for DSM-5 (K-SADS-PL-5)、Structured Clinical Interview for DSM-5 Personality Disorders (SCID-5-PD) などを用いた面接により、児童または青年について包括的な精神医学的アセスメントを行う。

児童青年期教育: 子どものこころ専門医が担当し、緊急対応の必要な児童青年期の症例のマネジメントについて助言・指導する。

火曜会: 多職種が参加するカンファレンスであり、専攻医や指導医が症例を報告し、関連した文献を紹介し、討議を行う。

水曜会: 専攻医が参加するカンファレンスであり、専攻医が担当する 1 週間の新規入院事例を報告し、プログラム統括責任者を含む複数の指導医が参加して討議する。指導医が選んだ内容について専攻医が 15 分間の講義を行う。

月	行事など
4	・オリエンテーション: SR1 研修開始 ・SR2・3 前年研修報告書提出 ・指導医の指導実績報告書提出 ・専攻医集中講義
5	・専攻医集中講義 ・第 1 回精神療法トレーニング
6	・日本精神神経学会総会参加 ・日本緩和医療学会総会参加（任意）
7	・研修プログラム管理委員会開催
8	・日本思春期学会参加
9	・第 2 回精神療法トレーニング
10	・SR1・2・3 研修中間報告書提出 ・日本サイコオンコロジー学会総会参加（任意） ・日本総合病院精神医学会総会参加（任意） ・日本児童青年精神医学会総会参加（任意）
11	・日本認知療法学会総会参加（任意） ・第 3 回精神療法トレーニング
12	・研修プログラム管理委員会開催
1	・愛知児童青年精神医学会（任
2	
3	・SR1・2・3 研修報告書 ・研修プログラム評価報告書の作成

※医療安全委員会、感染対策委員会は月に 1 回